

バドミントン

◇第56回道高校新人大会
兼第52回全国高校選抜大会
北海道予選会第2日
19日、よつ葉アリーナ十
勝で男女のダブルスを行っ
た。女子決勝は十勝出身選
手を含む旭川商勢同士の対
戦となり、先輩ペアの中島
優衣奈（帯一中出）・井上
紗彩組（2年）が、2-0
で藤川千愛（帯一中出）・
山本希乃花組（1年）を下
して連覇した。男子決勝は
田部時生・佐々木一成組
（帯大谷2年・1年）が0
-2で旭川実ペア
に敗れて準優勝。
帯大谷の三本木蓮
・今野隼稀組（2
年）、小川颯葉・
川上諺道組（1年）
は共に3位だっ
た。各優勝ペアは
全国高校選抜大会
（3月24、28日・
滋賀県）出場の権
利を得た。記録は
12面に掲載。
（古川雄介）

旭川商2年
帯一中出

女子複

北海道制覇

藤川千愛

旭川商1年
帯一中出

準優勝

中島

故郷で見せた先輩の意地

女子ダブルス決勝「チー
ムメイト対決を制して優勝
した旭川商の中島優衣奈
（左、帯一中出）・井上紗
彩組

女子ダブルス決勝で対戦した旭川商の第
一中出身2選手。（右から）優勝した中
島優衣奈、準優勝の藤川千愛

男子複準

V

田部・佐々木組

帯大谷2年・1年

男子ダブルス決勝】ラリー戦で粘りを見せる帯大谷の（右か
ら）田部時生・佐々木一成組

男子ダブルス決勝】3位に入った帯大谷の（右
から）三本木蓮・今野隼稀組

力出し尽くす

○：男子ダブルスは4強
のうち3ペアが帯大谷勢。
田部時生・佐々木一成組が
決勝で旭川実ペアに挑んだ
が完敗。田部は「できるこ
とはやったが、甘い球が出
た後の対応などは相手が
上。細かいミスも重なった
と力を出し尽くした。
帯八千代中時代はソフト
テニスに取り組んでいた佐
々木は、わずか1年間で力
を伸ばした。準決勝の同校
対決で砂川中で実績のある
小川颯葉・川上諺道組（1
年）も撃破。「自分の中で
はライバル視している。高
め合いたい」と佐々木。
相澤俊彰監督は「球を入
れ続ける技術が未熟。ミス
をして縮こまってしまう」
と辛口だったが、佐々木の
緩急、田部の前に入るスピ
ードなど、いくつも優れた
点を挙げて期待を示した。

三本木・今野組

帯大谷2年

3位

「相手が速かった」
男子ダブルス3位の三本
木蓮・今野隼稀組（帯大谷
2年）の話。準決勝は相手
のタッチが自分たちの2
倍、3倍速かった。自分た
ちも前にどんどん入って、
前衛でつぶせるようになり
たい。もっと多彩なシヨッ
トを覚えること、ミスを
なくすることが課題。